

大学・短大名	担当教員名
東北学院大学	宮川 基

学部・学科名	授業科目名	開講 学期	開講期間(実施回数)	開講 曜日	開講時間	受入 人数	※1		※2
							受講者集合場所 (開催場所)	受講方法	受講料
法学部・法律学科	刑法総論Ⅰ	前期	6月1日～8月3日(全9回)	月	16:45～18:15	10名	土樋キャンパス6号館601教室	①対面のみ	不要(無料)

受講対象	※1 受講方法「オンライン」の場合のウェブ会議ツールの名称等	※2 受講料「必要」の場合の具体的内容
高校生・大学生		

授業の目標等

- ①刑法の基本思想, 罪刑法定主義, 犯罪論体系, 構成要件, 違法性阻却事由について正確な知識を身に付ける。
 ②罪刑法定主義, 犯罪論体系, 構成要件, 違法性阻却事由に関する判例・学説について正確な知識を身に付ける。

授業内容・授業計画等

【公開授業】対面授業

前期は、6月1日以降の受講となるため、第1回～第6回は欠席となります。

第7回(6月1日): 相当因果関係説・危険の現実化説について説明します。

第8回(6月8日): 故意に関して説明します。

第9回(6月15日): 具体的事実の錯誤について説明します。

第10回(6月22日): 抽象的事実の錯誤について説明します。

第11回(6月29日): 過失に関して説明します。

第12回(7月6日): 不作為犯について説明します。

第13回(7月13日): 違法性の本質および緊急避難を説明します。

第14回(7月27日): 正当防衛について説明します。

第15回(8月3日): 被害者の同意について説明します。

参加上の注意(注意点、テキスト、参考書など)

プリントを配布します。

高校生へのメッセージ等

大学で法学や刑法を学びたいという高校生, 大歓迎です。ぜひお越しください!

大学・短大名	担当教員名
東北学院大学	三須 拓也

学部・学科名	授業科目名	開講学期	開講期間(実施回数)	開講曜日	開講時間	受入人数	受講者集合場所 (開催場所)	※1 受講方法	※2 受講料
国際学部・国際教養学科	グローバル・トピックス	前期	6月1日～8月3日(全9回)	月	16:45～18:15	若干名	五橋キャンパス講義棟605教室	①対面のみ	不要(無料)

受講対象	※1 受講方法「オンライン」の場合のウェブ会議ツールの名称等	※2 受講料「必要」の場合の具体的内容
高校生・大学生		

授業の目標等

現代の政治経済情勢を理解するには、出来事の歴史背景や他の出来事との関連を理解すべきです。
この講義では、身近な問題を手がかりにしながら、その「読み解き方」を学びます。

授業内容・授業計画等

【公開授業】対面授業

前期は、6月1日以降の受講となるため、第1回～第6回は欠席となります。

第7回(6月1日): アメリカ社会にみる経済のグローバル化の影響

第8回(6月8日): 移民と「ファストフード」①

第9回(6月15日): 移民と「ファストフード」②

第10回(6月22日): これまでの講義についての振り返りと質疑応答

第11回(6月29日): 日本社会にみる漁業の衰退と海洋資源問題

第12回(7月6日): 環境破壊と経済的難民

第13回(7月13日): アフリカにおける地域紛争と資源問題

第14回(7月27日): 開発援助をめぐる矛盾

第15回(8月3日): これまでの講義についての振り返りと質疑応答

参加上の注意(注意点、テキスト、参考書など)

テキストは特にありません。参考図書などは、講義の中で紹介されます。

高校生へのメッセージ等

身近な出来事の細かな点が見えるようになると、現在の世界の見え方が変わってくることでしょ。

大学・短大名	担当教員名
東北学院大学	宮川 基

学部・学科名	授業科目名	開講 学期	開講期間(実施回数)	開講 曜日	開講時間	受入 人数	※1		※2
							受講者集合場所 (開催場所)	受講方法	受講料
法学部・法律学科	刑法総論Ⅱ	後期	9月14日～1月25日(全15回)	月	16:45～18:15	10名	土樋キャンパス6号館601教室	①対面のみ	不要(無料)

受講対象	※1 受講方法「オンライン」の場合のウェブ会議ツールの名称等	※2 受講料「必要」の場合の具体的内容
高校生・大学生		

授業の目標等

- ①犯罪論体系について正確な知識を身に付ける。
②関連する学説・判例について正確な知識を身に付ける。

授業内容・授業計画等

【公開授業】対面授業

- 第1回(9月14日):責任の本質について説明します。
第2回(9月28日):責任能力の判断基準について説明します。
第3回(10月5日):原因において自由な行為について説明します。
第4回(10月19日):違法性の意識の可能性について説明します。
第5回(10月26日):実行の着手について説明します。
第6回(11月2日):不能犯について説明します。
第7回(11月9日):間接正犯について説明します。
第8回(11月16日):共同正犯,特に共謀共同正犯について説明します。
第9回(11月30日):過失犯の共同正犯について説明します。
第10回(12月7日):共犯の処罰根拠・狭義の共犯について説明します。
第11回(12月14日):共犯関係の解消および承継的共同正犯について説明します。
第12回(12月21日):共犯の錯誤について説明します。
第13回(1月4日):共犯と身分について説明します。
第14回(1月18日):罪数について説明します。
第15回(1月25日):刑法総論に関する最新判例を紹介・説明します。

参加上の注意(注意点、テキスト、参考書など)

プリントを配布します。

高校生へのメッセージ等

大学で法学や刑法を学びたいという高校生,大歓迎です。ぜひお越しください!

大学・短大名	担当教員名
東北学院大学	加藤 陽子

学部・学科名	授業科目名	開講 学期	開講期間(実施回数)	開講 曜日	開講時間	受入 人数	受講者集合場所 (開催場所)	※1	※2
								受講方法	受講料
工学部・機械知能工学科	工業英語	後期	9月14日～1月25日(全15回)	月	16:45～18:15	5名	五橋キャンパス講義棟609教室	①対面のみ	不要(無料)

受講対象	※1 受講方法「オンライン」の場合のウェブ会議ツールの名称等	※2 受講料「必要」の場合の具体的内容
高校生・大学生		

授業の目標等

工学分野における英語表現の理解に際し、以下の3点を達成する事を目標とする。

1. 一般的な専門用語を適切に理解し、説明する事ができる。
2. 専門分野における文章を各々適切に分析し、説明する事ができる。
3. 専門分野における文章の論旨を適切に述べる事ができる。

授業内容・授業計画等

【公開授業】対面授業

- 第1回(9月14日): Design: Drawings 演習問題(グループワーク)。
 第2回(9月28日): Design: Design and development 演習問題(グループワーク)。
 第3回(10月5日): Design: Design solutions 第1回レポート課題の提示。演習問題(グループワーク)。
 第4回(10月19日): Measurement: Horizontal and vertical measurements 第1回レポート課題の提出演習問題(グループワーク)。
 第5回(10月26日): Measurement: Locating and setting out 第1回レポート課題の解説。演習問題(グループワーク)。
 第6回(11月2日): Measurement: Dimensions of circles 演習問題(グループワーク)。
 第7回(11月9日): Measurement: Dimensional accuracy 第2回レポート課題の提示。演習問題(グループワーク)。
 第8回(11月16日): Measurement: Numbers and calculations 第2回レポート課題の提出。演習問題(グループワーク)。
 第9回(11月30日): Measurement: Area, size and mass 第2回レポート課題の解説。演習問題(グループワーク)。
 第10回(12月7日): Measurement: Measurable parameters 演習問題(グループワーク)。
 第11回(12月14日): Static and dynamic principles: Load, stress and strain 第3回レポート課題の提示。演習問題(グループワーク)。
 第12回(12月21日): Static and dynamic principles: Motion and simple mechanics 第3回レポート課題の提出。演習問題(グループワーク)。
 第13回(1月4日): Energy and temperature: Energy 第3回レポート課題の解説。演習問題(グループワーク)。
 第14回(1月18日): Fluids: Fluid dynamics 演習問題(グループワーク)。
 第15回(1月25日): 1回から第14回に行われた講義に関する小論文の作成。

参加上の注意(注意点、テキスト、参考書など)

・興味ある回のみでの参加も可能です

高校生へのメッセージ等

学術書籍・論文・仕様書に至るまで、英語が果たしている役割は大きく、皆さんの世界を大きく広げる助けとなると思います。英文一つ一つを丁寧に読み解いてゆくと、徐々に「良く使う言い回し」が身につくと思います。この講義が、皆さんが工学分野へ踏み出す助けとなる事を願ってやみません。

大学・短大名	担当教員名
東北学院大学	中村 教博

学部・学科名	授業科目名	開講 学期	開講期間(実施回数)	開講 曜日	開講時間	受入 人数	受講者集合場所 (開催場所)	※1	※2
								受講方法	受講料
教養教育センター	自然の科学	後期	9月15日～1月19日(全15回)	火	18:25～	5名		②オンラインのみ	不要(無料)

受講対象	※1 受講方法「オンライン」の場合のウェブ会議ツールの名称等	※2 受講料「必要」の場合の具体的内容
高校生・大学生	Google Classroom	

授業の目標等

以下の3つができるようになることが、この授業の達成目標です。

- ①能動的な学修のスタイルを身に付け、自ら予想して検証することができる。
- ②138億年という想像を越える長い時間感覚で物事を捉えることができる。
- ③自分なりの素朴な疑問を持ち、その疑問を解決することに挑戦できる。

授業内容・授業計画等

【公開授業】オンデマンド授業

[授業内容]

「なぜ宇宙は暗いのか？」といった素朴な疑問を持ったことはありませんか？このような素朴な疑問について、現代科学がどのように138億年の歴史を解き明かしてきたか、科学者がどのように試行錯誤してきたかを理解する。この授業では、このような素朴な疑問について各自で調べることで自分ごととして考えた上で、科学者がどのように解明してきたのかを理解する。

[授業計画]

- 第1回(9月15日):オリエンテーション ビッグヒストリーとは何か？
 第2回(9月29日):「なぜ宇宙は暗いのか？」を、138億年前のビッグバンから考える。
 第3回(10月6日):「金やレアアースはどこでできた？」を、星の衝突から考える。
 第4回(10月13日):「地球に二酸化炭素は必要か？」を、暗い太陽のパラドックスから考える。
 第5回(10月20日):「宇宙に生命は存在するのか？」を、フェルミ推定から考える。
 第6回(10月27日):「生命ってなんだ？」を、アストロバイオロジーの視点から考える。
 第7回(11月10日):「昔から地球は青い惑星か？」を、スノーボールアース仮説から考える。
 第8回(11月17日):「化石燃料の石油や石炭はいつ・どこでできたの？」を、赤潮から考える。
 第9回(11月24日):「人間はなぜ新しいもの好きなのか？」を、人類史から考える。
 第10回(12月1日):「ストラティバリウスはなぜ高価なのか？」、小氷河期から考える。
 第11回(12月8日):「本当に地球は温暖化しているのか？」を、グリーンランドから考える。
 第12回(12月15日):「なぜ温泉に入れるのか？」を、プレートテクトニクス理論から考える。
 第13回(12月22日):「なぜ東北大地震は起こったのか？防災はどうすれば良いか？」を、プレートテクトニクス理論から考える。
 第14回(1月12日):「これからの地球・人類の未来はどうなる？」を、人工知能から考える。アイデアの捻出法についても解説する。
 第15回(1月19日):138億年の歴史を振り返る

参加上の注意(注意点、テキスト、参考書など)

この授業では教科書を使用しません。

高校生へのメッセージ等

高校の授業の「地学」「物理」「生物」「歴史」「政治経済」「数学」「英語」「音楽」あたりが組み合わせられた授業内容になっています。これらの教科の繋がりを俯瞰的に見渡すことができるので、受験勉強の息抜きで視聴すると、日頃の勉強が面白くなるかも知れませんよ。

大学・短大名	担当教員名
東北学院大学	村上 弘志

学部・学科名	授業科目名	開講学期	開講期間(実施回数)	開講曜日	開講時間	受入人数	受講者集合場所 (開催場所)	※1 受講方法	※2 受講料
情報学部・データサイエンス学科	自然の科学	後期	9月16日～1月20日(全15回)	水	18:25～ (授業動画公開期間: 各回5日間)	無制限		②オンラインのみ	不要(無料)

受講対象	※1 受講方法「オンライン」の場合のウェブ会議ツールの名称等	※2 受講料「必要」の場合の具体的内容
高校生・大学生	Google ドライブ	

授業の目標等

- ・ 科学的な問題に対して論理的な考え方ができる。
- ・ 宇宙の時間的・空間的な広がりを知り、その中での人類の位置を考えることができる。

授業内容・授業計画等

【公開授業】オンデマンド授業

主に天文学についての講義です。これまでの研究成果を紹介しながら本当の宇宙の姿を実感するとともに、その探求の歴史や解明の方法を知ります。また、観測や理論の発展などの実例を通して科学的な考え方に触れます。

第1回(9月16日):宇宙の歴史と現代天文学の謎

第2回(9月30日):観測の歴史 I(宇宙観の変遷)

第3回(10月7日):観測の歴史 II(波長の広がり)

第4回(10月14日):天体の距離測定

第5回(10月21日):恒星

第6回(10月28日):星の輪廻と縮退星

第7回(11月4日):ブラックホール

第8回(11月11日):銀河と宇宙の階層構造

第9回(11月18日):相対性理論の世界

第10回(11月25日):銀河系の中心

第11回(12月2日):太陽系天体

第12回(12月9日):太陽

第13回(12月16日):地球、月

第14回(1月13日):宇宙の生命

第15回(1月20日):まとめの解説(それまでの回の質問への回答)

参加上の注意(注意点、テキスト、参考書など)

- ・興味のある回のみでの参加も歓迎します。
- ・オンデマンド授業のため、授業動画とPDF資料をGoogleドライブで配信します。開講曜日から5日間程度動画が公開されるのでその間はいつでも受講可能です。
- ・一部の回を除きほぼ毎回振り返りの問題を出し、次の回に解答を提示し解説します。

高校生へのメッセージ等

文系理系両方を対象とした講義で数式などはほぼ使いません。宇宙のことを知るとともに、文系理系に共通して必要となる論理的な考え方を身につけることが目標です。

科目No.
24

大学・短大名	担当教員名
東北学院大学	村上 弘志

学部・学科名	授業科目名	開講学期	開講期間(実施回数)	開講曜日	開講時間	受入人数	受講者集合場所(開催場所)	※1	※2
								受講方法	受講料
情報学部・データサイエンス学科	科学的思考の基礎	後期	9月18日～1月22日(全15回)	金	18:25～ (授業動画公開期間: 各回4日間)	無制限		②オンラインのみ	不要(無料)

受講対象	※1 受講方法「オンライン」の場合のウェブ会議ツールの名称等	※2 受講料「必要」の場合の具体的内容
高校生・大学生	Google ドライブ	

授業の目標等

文系理系を問わず
 ① 「科学的思考」について、理解するとともに考えるための道具を身につけ、実際に用いることができる
 ② 世の中のさまざまな発言や文章を批判的に捉え、「科学的」に判断することができる
 ③ 日常のさまざまな場面において「科学的」に判断し、行動することができる

授業内容・授業計画等

【公開授業】オンデマンド授業
 “科学的に考える”とは“科学に関する知識を身につける”ことではありません。入ってくる情報に基づいて、よりよい生き方、よりよい行動がとれるように考えることを意味します。「今日の昼ごはんは何にしよう」「部活の雰囲気良くしたいなあ」「朝食を食べると成績が良くなるって本当かな?」・・・このような何気ない日常のことも、実は“科学的思考”と密接に関わっています。本講義では、論理や数字、グラフの見方や考え方、よりよい仮説を求める思考法などを通して、日々目にする様々な情報を正しく評価・判断する力を身につけます。
 第1回(9月18日): イントロダクション: ヒトはだまされやすい?
 第2回(9月25日): 「もしかして」からはじめよう～科学的思考と仮説～
 第3回(10月2日): 推論でつなげよう～演繹と帰納～
 第4回(10月9日): 仮説を確かめよう～検証の重要性～
 第5回(10月16日): 言葉にだまされない
 第6回(10月30日): 数字にだまされない
 第7回(11月6日): グラフにだまされない
 第8回(11月13日): 関係性に気をつけよう
 第9回(11月20日): これまでの理解度を確認する(範囲: 第1回から第8回まで)
 第10回(11月27日): 前半の復習。第9回の問題の解説をおこなう
 第11回(12月4日): 仮説思考の活用
 第12回(12月11日): 仮説を広げる方法
 第13回(12月18日): 仮説を絞りこむ方法
 第14回(1月8日): これまでの理解度を確認する(範囲: 第1回から第13回まで)
 第15回(1月22日): 総復習・各回のつながりを見る。第14回の問題の解説をおこなう

参加上の注意(準備物、テキスト、参考書など)	高校生へのメッセージ等
<ul style="list-style-type: none"> ・興味のある回のみ参加も歓迎します。 ・オンデマンド授業のため、授業動画とPDF資料をGoogleドライブで配信します。開講曜日から4日間程度動画が公開されるのでその間はいつでも受講可能です。 ・毎回振り返りの問題を出し、次の回に解答を提示し解説します。 ・参考書: 科学的思考のススメ「もしかして」からはじめよう ミネルヴァ書房 (ISBN 9784623090280) ※ この講義の内容をもとに書かれた本です。資料も配布しますので参考書がなくてもわかる内容ですが、参考書を合わせて読むことでより理解が進みます。 	<p>「科学的」というと物理や生物など理科の科目を思い浮かべるかもしれませんがそうではありません。「もしかして」から始めて、できごとの裏にある目に見えないしくみを知らうとするのが「科学的思考」です。この思考法は、文理問わず、すべての人に身に付けてほしいものです。日常のちょっとした違和感に「気づき」、「仮説」を立てて、しっかり考える方法を学びましょう。この思考を身につけると、だまされにくくなったり、なんとなくの判断を避けよりよい「選択」ができるようになります。</p>

大学・短大名	担当教員名
東北学院大学	岸 浩介

学部・学科名	授業科目名	開講学期	開講期間(実施回数)	開講曜日	開講時間	受入人数	※1		※2
							受講者集合場所 (開催場所)	受講方法	受講料
教養教育センター	言語論	後期	9月18日～1月22日(全15回)	金	18:25～ (授業動画公開期間: 各回4日間)	5名		②オンラインのみ	不要(無料)

受講対象	※1 受講方法「オンライン」の場合のウェブ会議ツールの名称等	※2 受講料「必要」の場合の具体的内容
高校生・大学生	Googleドライブ	

授業の目標等

- 以下の3つができるようになることが、この授業の達成目標です。
- ①言語を研究する意味を理解し、日常注目していない言葉に関わる現象に興味・関心を向けることができる。
 - ②テキストおよび資料・文献を読んで理解したり疑問に思ったことを適切な用語を用いて説明できる。
 - ③講義を通して学修したことを使って身の回りの言葉に関わる現象について自分なりに説明できる。

授業内容・授業計画等

【公開授業】オンデマンド授業

[授業内容]

言語を対象とした学問が古代ギリシア時代にまでさかのぼる歴史を持ち、現在も様々な分野にわかれた多様性を示すことを確認したうえで、言語を対象とした科学研究がどのようなものかについて解説します。以下が各回で扱うトピックです。

[授業計画]

- 第1回(9月18日):オリエンテーション 言語の思想史①
 第2回(9月25日):言語の思想史② ソシユールの言語観
 第3回(10月2日):言語知識とは
 第4回(10月9日):言語の音韻的側面① 言語音の区別、ヒトの言語音とサル
 第5回(10月16日):言語の音韻的側面② 分節音の分布、音韻過程
 第6回(10月30日):言語の形態的側面
 第7回(11月6日):言語の統語的側面①
 第8回(11月13日):言語の統語的側面②
 第9回(11月20日):言語の意味的側面 意味素性 意味役割
 第10回(11月27日):言語の語用論的側面
 第11回(12月4日):言語の獲得(習得)① 母語獲得
 第12回(12月11日):言語の獲得(習得)② 第二言語習得
 第13回(12月18日):言語の運用
 第14回(1月8日):言語と脳
 第15回(1月22日):言語の多様性と変化 若者ことば

参加上の注意(注意点、テキスト、参考書など)

この授業では授業の大半で以下の教科書を使用します(購入必須)。

●大津由紀雄 他(監修)、杉崎鉦司 他(編集)(2022)『言語研究の世界:生成文法からのアプローチ』研究社。ISBN978-4-327-40177-1

参考書については別途授業内で案内します。

高校生へのメッセージ等

高校の授業では、「英語」や「国語」といった授業はありますが、「言語」という授業はおそらくないはずです。この授業では、「人間が使える『言語』とはどのようなものなのか？」などを中心に考えて行きます。

大学・短大名	担当教員名
東北学院大学	英文学科教員

学部・学科名	授業科目名	開講学期	開講期間(実施回数)	開講曜日	開講時間	受入人数	受講者集合場所 (開催場所)	※1	※2
								受講方法	受講料
文学部・英文学科	高校生のための英文学科公開講座	後期	10月(全2回)	土	未定	100名	土樋キャンパスホーイ記念館	①対面のみ	不要(無料)

受講対象	※1 受講方法「オンライン」の場合のウェブ会議ツールの名称等	※2 受講料「必要」の場合の具体的内容
高校生・大学生・一般		

授業の目標等

本学英文学科の二つの学問分野、「英米文学分野」と「英語学分野」で、実際にどのようなことを学べるのかを知り、英語学習に活用できるようになる。

授業内容・授業計画等

【公開講座】

- ・英米文学分野教員による講義(講義題未定) 英米文学分野での学びの紹介と、その英語学習への活用の提言
- ・英語学分野教員による講義(講義題未定) 英語学分野での学びの紹介と、その英語学習への活用の提言

参加上の注意(注意点、テキスト、参考書など)

テキストは特にありません。必要に応じて、プリントを配布します。
関心のある回だけの受講も歓迎します。

公開講座の内容や講師については決定次第、申込者にご連絡いたします。
参考に、2025年度「高校生のための英文学科公開講座」については以下をご確認ください。
<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/research/compatibility/20252.html>

高校生へのメッセージ等

高校生、元高校生の方も、大学で文学を学びたいという人、大学で英語学・言語学を学びたいという人、大歓迎です。ぜひご来場下さい。
大学で何を学びたいかまだ分からないという人、大歓迎です。ぜひご来場下さい。
文学を学ぶとはどういうことか、英語学・言語学を学ぶとはどういうことか、かみ砕いてご説明します。英語を学ぶことにも生かすことができる知識をお伝えします。